

ポツシユ株式会社 電動工具事業部

ホームページ : <http://www.bosch.co.jp>
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーダイヤル
☎ 0120-345-762

(土・日・祝日を除く、午前 9:00~午後 6:00)

* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーダイヤルのご利用
はできませんのでご了承ください。



2 609 141 269 (15.04)

2 609 141 269

レーザー距離計 GLM 50 C Professional



取扱説明書 (保証書)

このたびは、弊社レーザー距離計をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカatalog請求、その他ご不明な点がありましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。



目次

- **安全上のご注意**
 - 警告表示の区分 2

- **本製品について**
 - 用途 7
 - 各部の名称 7
 - 仕様 9
 - 標準付属品 11

- **使い方**
 - 作業前の準備をする 12
 - 作業する 15
 - 他の機器へのデータ転送 42
 - レーザー距離計の精度チェック 44

- **困ったときは**
 - 故障かな？と思ったら 48
 - 修理を依頼するときは 49

- **お手入れと保管**
 - お手入れと保管 50
 - 廃棄 51

安全上のご注意

- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』をすべてよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

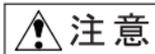
警告表示の区分

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。



警告

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



注意

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。



警 告

1. レーザー光を人や動物に向けたり、直接のぞいたりしないでください。
 - ◆ 本機はレーザークラス 2 (EN60825-1 準拠) のレーザー光を発光します。レーザー光が目に入ると視力に影響を及ぼす場合があります。
2. 取扱説明書に記載された使用方法に従って使用してください。
3. 取扱説明書およびボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアクセサリー以外は使用しないでください。
4. レーザーメガネを保護メガネとして使用しないでください。
 - ◆ レーザーメガネはレーザー光の視認を助けるものであり、レーザー光から目を保護するものではありません。
5. レーザーメガネをサングラスとして使用したり、道路交通上で着用したりしないでください。
 - ◆ レーザーメガネでは紫外線からの完全な保護はできません。またレーザーメガネは色の認識力を低下させます。
6. 本機を分解・改造しないでください。

7. 測定を行う場合は安全な測定場所を確保してください。
 - ◆爆発の危険性のある環境（可燃性液体、ガスおよび粉じんのある場所）では使用しないでください。本機から火花が発生し、粉じんや蒸気に引火する恐れがあります。
8. レーザー光が他人や動物、自分に向いていないことを確かめて、本機を設置してください。
9. 本機に強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
10. 誤って落としたり、ぶつかけたりしたときは、本機に破損や亀裂、変形がないことをよく確認してください。
11. 本機を湿気の多い場所や直射日光の当たる場所に、放置しないでください。
12. 本機を極度に高温または低温になる場所や、急激な温度変化のある場所では、使用しないでください。

13. 使用中に異常が疑われるときには、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店またはポッシュ電動工具サービスセンターに点検を依頼してください。

14. 本機を *Bluetooth*[®]機能が有効な状態で使用する場合、他の機器、システム、航空機、医療機器（例、心臓ペースメーカー、補聴器）との干渉が起きることがあります。また、人間や動物に傷害を与える恐れの可能性は完全に排除することはできません。医療機器、ガソリンスタンド、化学工場、爆発の危険性のある場所、爆風に曝される場所などの近くや航空機内で本機を *Bluetooth*[®]が有効な状態で使用しないでください。



注 意

1. 使用前に、本機に損傷がないか点検してください。
 - ◆ 使用前に、本機に損傷がないか十分に点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
2. 無理な姿勢で作業しないでください。
 - ◆ 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。
3. 子供を近づけないでください。
 - ◆ 目の届かない場所で、子供に本機を使用させないでください。レーザー光が他者や子供自身の目に入ると、視力に影響を及ぼす場合があります。
4. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ◆ 子供や製品知識を持たない方の手の届かない安全な所、または鍵の掛かる所に保管してください。
5. 点検は、必ずお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申し付けください。
 - ◆ 点検の知識や技術のない方が点検しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

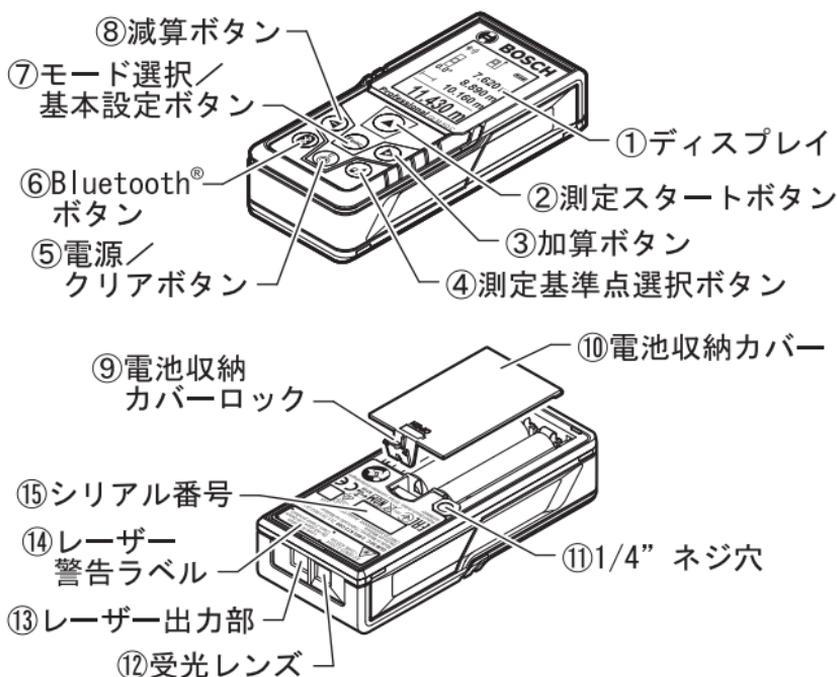
この取扱説明書は、大切に保管してください。

本製品について

用途

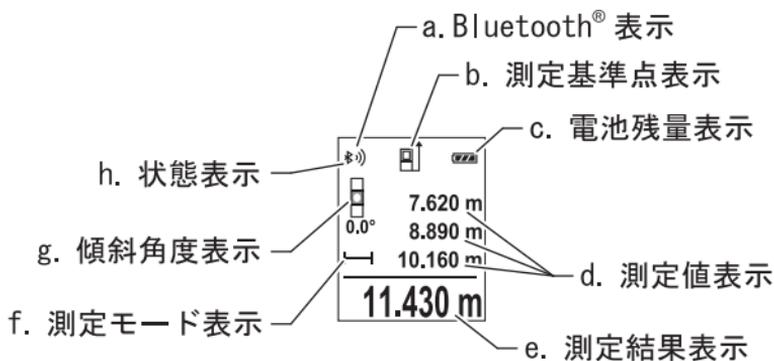
- ◆ 距離測定、長さ測定、高さ測定、隙間測定、傾斜測定、面積測定、体積測定
- ◆ Bluetooth[®]による測定結果の転送

各部の名称



◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

ディスプレイ



モード選択画面

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

仕 様

型番	GLM 50 C Professional	
測定可能範囲		
距離測定(標準)	0.05~50 m *1	
距離測定(測定に不利な環境下)		20 m *2
ピタゴラス測定の傾斜	0~360°(4×90°)	
傾斜測定	0~360°(4×90°)	
測定精度		
距離測定(標準)	±1.5 mm *1	
距離測定(測定に不利な環境下)		±3.0 mm *2
傾斜測定(標準)	±0.2° *3,*4	
最小測定単位		
距離測定	0.1 mm	
傾斜測定	0.1°	
使用温度範囲	-10~+45°C (連続測定モード*: -10~+40°C)	
保管温度範囲	-20~+70°C	
最大相対湿度	90%	
レーザークラス	クラス 2	
レーザーの種類	635 nm、 <1 mW	
レーザー光径	約 9 mm(測定距離 10 m)	
(使用温度 25°Cの場合)	約 45 mm(測定距離 50 m)	

自動電源オフ(測定を行わなかった場合)	
レーザー光	約 20 秒
本体	約 5 分 (Bluetooth [®] 無効)
ディスプレイ/本体	約 5 分/約 15 分 (Bluetooth [®] 有効)
防じん・防水構造	IP54 (電池収納部を除く)
質量	100 g
寸法	106×45×24 mm
電源	単 4 形アルカリ乾電池 2 本 単 4 形充電式電池 2 本
電池寿命	約 10000 回 (個別測定) (Bluetooth [®] 無効の場合) 約 2.5 時間 (連続測定)
測定単位	m
操作音	あり
データ転送	
Bluetooth [®]	Bluetooth [®] 4.0 *5 (Classic and Low Energy)

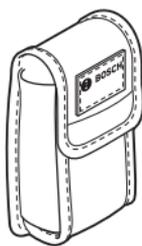
- *1 弱い逆光、使用温度 25℃ のとき、後端基準の測定で、反射率が高い測定対象物 (白塗の壁など) の場合。偏差は、±0.05mm/m を増減します。
- *2 強い逆光、使用温度 -10℃ ~ +45℃ のとき、後端基準の測定で、反射率が低い測定対象物 (黒い箱など) の場合。偏差は、±0.15mm/m を増減します。
- *3 0° および 90° で校正後、傾斜角 45° までの偏差は ±0.01° /度を増減します。
- *4 使用温度 25℃ のとき。

*5 転送先の機種や OS によっては、省電力 **Bluetooth**[®]通信ができないことがあります。**Bluetooth**[®]機器には SPP プロファイルのサポートが必要です。

お客様のレーザー距離計のシリアル番号は、銘板に記載されています。
(7 ページ「各部の名称」参照)

本機は、日本の電波法および電気通信事業法の規格に準拠しています。
分解・改造しないでください。(分解・改造すると認証番号は無効になります)

標準付属品



キャリングバッグ

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

使い方

作業前の準備をする

● 電池を取り付ける・取り外す

取り付け

1. 電池収納カバーロック⑨を矢印の方向に押し、電池収納カバー⑩を取り外します。



2. 電池収納部内の表示に従い、電池の向きに注意して電池を取り付けます。
 - ☞ アルカリ乾電池または充電式電池を使用してください。充電式電池（1.2V）は、アルカリ乾電池（1.5V）より測定可能回数が少なくなります。
 - ☞ 電池を交換するときは、電池を2本セットで交換してください。この際、メーカーおよび容量の異なる電池を使用しないでください。
 - ☞ 付属されている電池は作動テスト用です。
3. 電池収納カバー⑩のツメを本体の凹部に差し込み、電池収納カバー⑩を上から押し込んで取り付けます。

- ☞ 長時間にわたって本機をご使用にならない場合は、本体から電池を取り外してください。長時間にわたって放置すると、電池の腐食および自然放電につながります。
- ☞ 電池残量表示 c が  になってから、約 100 回の測定ができます。
- ☞ 電池残量表示 c の  が赤く点滅したら、測定できません。電池を交換してください。

取り外し

1. 電池収納カバーロック⑨を矢印の方向に押し、電池収納カバー⑩を取り外します。
2. 電池を取り外します。
3. 電池収納カバー⑩のツメを本体の凹部に差し込み、電池収納カバー⑩を上から押し込んで取り付けます。



● 三脚に取り付ける（三脚を使用して測定するときのみ）

長い距離を測定する場合は三脚を使用します。

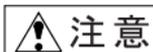
本体下部に装備された 1/4" ネジ穴①を使用して、別売アクセサリの三脚または市販の写真撮影用三脚に本体を取り付けます。



作業する



- ◆ レーザー光を直接のぞかないでください。
- ◆ レーザー光が他人や動物、自分に向いていないことを確かめて、本機を設置してください。



- ◆ 本機を水分や直射日光から保護してください。
- ◆ 極度に温度の高いまたは低い環境、極度に温度変化のある場所では使用しないでください。
- ◆ 本機に強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。

- ☞ 測定するときは、受光レンズ⑫およびレーザー出力部⑬に何も被さっていないことを確認してください。
- ☞ 測定中はレーザー距離計を動かさないでください。(連続モードは除く)
このため、レーザー距離計はできるだけ測定点上に当てるようにしてください。
- ☞ 測定はレーザー光の中心が対象になります。これは対象物に対して斜めに照準された場合も同様です。
- ☞ 測定範囲は、使用環境の明暗度および照準対象面からの反射特性により異なります。日光照射の強い屋外で作業を行う際には、レーザーメガネおよびターゲットパネルを使用するか、照準対象面に影を当てるとレーザー光が見やすくなります。

- ☞ 透明な表面（ガラス、水面など）および鏡表面を対象物にして測定を行った場合、正しく測定されないことがあります。
- 同様に穴があいている表面や、凹凸のある表面、温度差のある空気層、間接的な反射光の受光などが測定誤差の原因となることがあります。これらの現象は物理的原因によるものであり、本機でのお取り扱いによりこれらの問題を解消することはできません。

1 電源を入れる

スイッチの ON/OFF

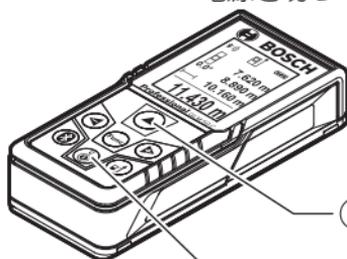
スイッチ ON：「電源／クリアボタン⑤⑥」または「測定スタートボタン②④」を押します。

「電源／クリアボタン⑤⑥」で電源を入れた場合は、レーザー光は照射されません。

「測定スタートボタン②④」で電源を入れた場合には、レーザー光が照射されます。

スイッチ OFF：「電源／クリアボタン⑤⑥」を長押しします。

☞ 保存されている測定値および基本項目の設定は、電源を切っても記憶されています。



②測定スタートボタン

⑤電源／クリアボタン

2 基本項目を設定する

操作音、ディスプレイ①の表示方向、デジタル水準器の表示／非表示を設定できます。

- 👉 基本項目の設定は、電源を切っても記憶されています。
- 👉 ディスプレイの照明は、20 秒間何も操作しないと暗くなります。

1. 「モード選択／基本設定ボタン⑦ 」を基本設定画面が表示されるまで長押しします。
2. 設定したい項目を選びます。
3. 設定が終わったら、「電源／クリアボタン⑤ 」を押して、基本設定画面を閉じます。

操作音（シグナル音）を設定する

ボタンを押したときや測定完了時などに、音を鳴らすことができます。

「加算ボタン③ 」または「減算ボタン⑧ 」を押すと、設定を選択できます。

ディスプレイ①の表示方向を設定する

ディスプレイ①の表示方向（上下左右）を自動的に切り替わるように設定することができます。

「加算ボタン③ 」または「減算ボタン⑧ 」を押すと、設定を選択できます。

デジタル水準器を設定する

ディスプレイ上に本体の傾斜角度を表示させることができます。「加算ボタン③

」または「減算ボタン⑧」を押すと、設定を選択できます。

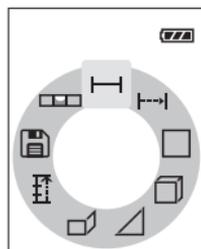
③ 測定モードを選択する

測定モードは、下記から選択できます。

- 距離測定モード
- 連続測定モード
- 面積測定モード
- 体積測定モード
- 間接・ピタゴラス測定モード（3種）
- 壁面積測定モード
- 等間隔測定モード
- 傾斜測定モード

電源を入れた直後は、“距離測定モード”が選択されています。一度任意の測定モードに設定した後は、モードを変更するか電源を切らない限り、設定したモードのままで測定されます。

「モード選択／基本設定ボタン⑦

」を押すと、モード選択画面が表示されます。再度「モード選択／基本設定ボタン⑦」を押すと、モード選択画面が閉じます。

距離測定モード

距離を測定したいときに選択します。

「モード選択/基本設定ボタン⑦ 」を押した後、ディスプレイ①の距離測定マーク “  ” が選択されるまで「加算ボタン③ 」または「減算ボタン⑧ 」を繰り返し押します。

連続測定モード

照準点を基準に、距離を測定したいときに選択します。

「モード選択/基本設定ボタン⑦ 」を押した後、ディスプレイ①の連続測定マーク “  ” が選択されるまで「加算ボタン③ 」または「減算ボタン⑧ 」を繰り返し押します。

面積測定モード

面積を測定したいときに選択します。

「モード選択/基本設定ボタン⑦ 」を押した後、ディスプレイ①の面積測定マーク “  ” が選択されるまで「加算ボタン③ 」または「減算ボタン⑧ 」を繰り返し押します。

体積測定モード

体積を測定したいときに選択します。

「モード選択/基本設定ボタン⑦ 」を押した後、ディスプレイ①の体積測定マーク “  ” が選択されるまで「加算ボタン③ 」または「減算ボタン⑧ 」を繰り返し押します。

間接・ピタゴラス測定モード

間接的に、長さを算出したいときに選択します。

「モード選択/基本設定ボタン⑦ 」を押した後、ディスプレイ①の間接・ピタゴラス測定マーク “  ” が選択されるまで「加算ボタン③ 」または「減算ボタン⑧ 」を繰り返し押します。さらに任意の間接・ピタゴラス測定マーク “  ” ・ “  ” が表示されるまで「加算ボタン③ 」または「減算ボタン⑧ 」を押します。

壁面積測定モード

同じ高さの、数面の壁の総面積を測定したいときに選択します。

「モード選択/基本設定ボタン⑦ 」を押した後、ディスプレイ①の壁面積測定マーク “  ” が選択されるまで「加算ボタン③ 」または「減算ボタン⑧ 」を繰り返し押します。

等間隔測定モード

あらかじめ設定した長さを繰り返し測定したいときに選択します。

「モード選択/基本設定ボタン⑦ 」を押した後、ディスプレイ①の等間隔測定マーク “  ” が選択されるまで「加算ボタン③ 」または「減算ボタン⑧ 」を繰り返し押します。

傾斜測定モード

傾斜の角度を測定したいときや水準器として使用したいときに選択します。

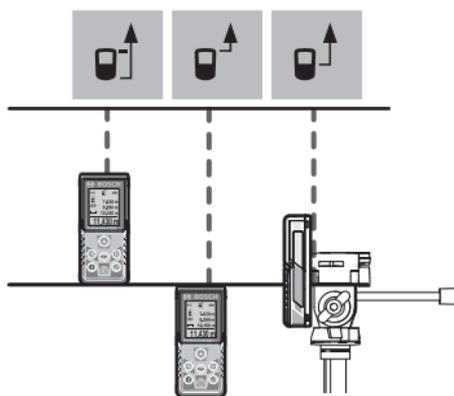
「モード選択/基本設定ボタン⑦ 」を押した後、ディスプレイ①の傾斜測定マーク “  ” が選択されるまで「加算ボタン③ 」または「減算ボタン⑧ 」を繰り返し押します。傾斜測定モードを選択すると、本体の向きによって測定画面が自動的に替わります。

4 基準点を選択する

基準点は“本体の後方端部”・“本体の前方端部”・“1/4”ネジ穴”の3個所で設定できます。

電源を入れた直後は、後方端部が基準点になっています。

一度任意の基準点に設定した後は、基準点を変更するか電源を切らない限り同じ基準点で測定されます。



本体の後方端部（壁に当てる場合など）

「測定基準点選択ボタン④」を押した後、ディスプレイ①に“”が表示されるまで「加算ボタン③」または「減算ボタン⑧」を繰り返し押します。「測定基準点選択ボタン④」を繰り返し押しても、基準点を変更できます。

本体の前方端部（テーブルの端から測定する場合など）

「測定基準点選択ボタン④」を押した後、ディスプレイ①に“”が表示されるまで「加算ボタン③」または「減算ボタン⑧」を繰り返し押します。「測定基準点選択ボタン④」を繰り返し押しても、基準点を変更できます。

1/4" ネジ穴⑪（三脚を使用して測定する場合など）

「測定基準点選択ボタン④」を押した後、ディスプレイ①に“”が表示されるまで「加算ボタン③」または「減算ボタン⑧」を繰り返し押します。「測定基準点選択ボタン④」を繰り返し押しても、基準点を変更できます。
基準点はネジ穴の中心になります。

5 測定する



警告

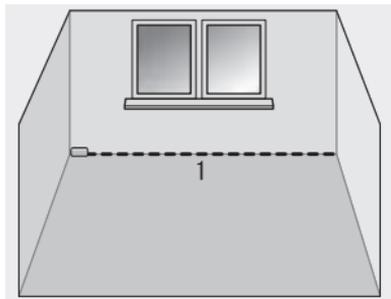
- ◆ レーザー出力部⑬が他人や動物、自分に向いていないことを確かめてから、レーザー光を照射させてください。

☞ 照射後、約 20 秒以上測定を行わないと、レーザー光は自動的に切れます。

切れてしまったときは、再度「測定スタートボタン②(△)」を押すと照射されます。

距離を測定する

距離を求めます。



1. 「測定スタートボタン②(△)」を押して、レーザー光を照射させます。
2. 選択した基準点を測定開始点に合わせ、レーザー光を目標面に当てます。

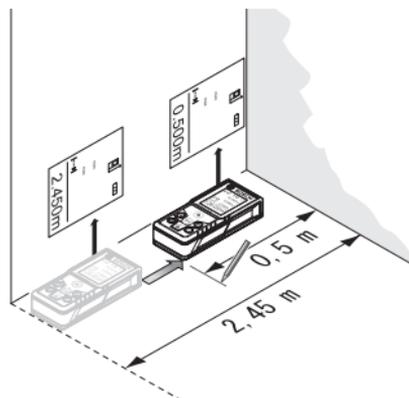
3. 「測定スタートボタン②(△)」を押して測定します。
 測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。
 測定が完了すると、測定値がディスプレイ①の測定結果表示 e に表示されます。
 測定を繰り返し続けると、測定結果表示 e に最新の測定結果が表示され、測定値表示 d に過去の測定値が表示されます。



連続測定する

照準点を基準としながら距離を測ります。

連続測定は、約 5 分間測定し続けます。

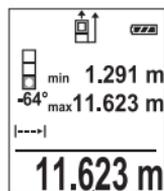


1. 「測定スタートボタン②(△)」を押して、レーザー光を照射させます。

2. 選択した基準点を測定開始点に合わせ、レーザー光を目標面に当てます。

測定値は 0.5 秒ごとに更新されます。

ディスプレイ①の測定結果表示 e に希望する距離が表示されるまで、本機を移動させてください。



測定値

- ☞ 連続測定を中断したいときは、「測定スタートボタン②(△)」を押してください。

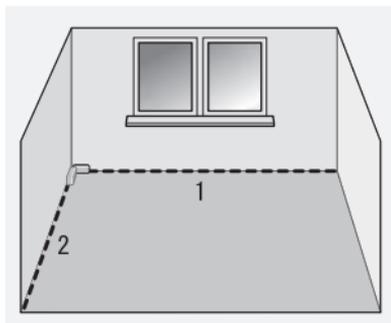
レーザー光が切れ、その時点での測定値がディスプレイ①の測定結果表示 e に表示されます。その上に最大値と最小値が表示されます。

再度、「測定スタートボタン②(△)」を押すと、連続測定を新たに開始します。

- ☞ 連続測定は、5分後自動的に解除されます。

面積を測定する

長さと幅を測定して面積を求めます。



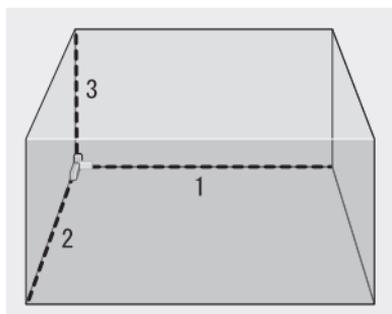
1. 「測定スタートボタン②(△)」を押して、レーザー光を照射させます。
2. 選択した基準点を測定開始点に合わせ、レーザー光を長さの目標面に当てます。
3. 「測定スタートボタン②(△)」を押して長さを測定します。測定が完了すると、長さの測定値がディスプレイ①の測定値表示 d 上段に表示されます。
4. 続けて、レーザー光を幅の目標面に当てます。
☞ 長さの測定が終わっても、レーザー光は照射されたままになっています。

5. 「測定スタートボタン②(△)」を押して幅を測定します。測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。測定が完了すると、幅の測定値がディスプレイ①の測定値表示 d 下段に表示されます。面積の測定値はディスプレイ①の測定結果表示 e に表示されます。



体積を測定する

長さ、幅、高さを測定して、体積を求めます。



1. 「測定スタートボタン②(△)」を押して、レーザー光を照射させます。
2. 選択した基準点を測定開始点に合わせ、レーザー光を長さの目標面に当てます。
3. 「測定スタートボタン②(△)」を押して長さを測定します。測定が完了すると、長さの測定値がディスプレイ①の測定値表示 d 上段に表示されます。

- 続けて、レーザー光を幅の目標面に当てます。
☞ 長さの測定が終わっても、レーザー光は照射されたままになっています。
- 「測定スタートボタン②(△)」を押して幅を測定します。
測定が完了すると、幅の測定値がディスプレイ①の測定値表示 d 中段に表示されます。
- 続けて、レーザー光を高さの目標面に当てます。
☞ 幅の測定が終わっても、レーザー光は照射されたままになっています。
- 「測定スタートボタン②(△)」を押して高さを測定します。
測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。

測定が完了すると、高さの測定値がディスプレイ①の測定値表示 d 下段に表示されます。体積の測定値はディスプレイ①の測定結果表示 e に表示されます。



間接・ピタゴラス測定する

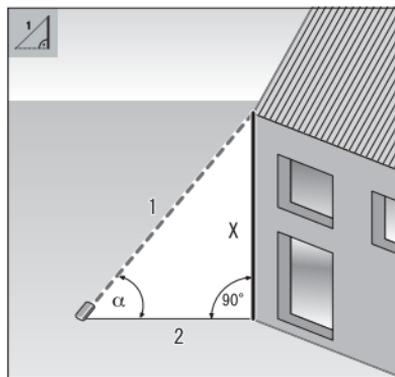
何らかの障害物にレーザー光が遮られ、直接の測定が行えない場合や、反射に適した対象物がない場合、辺測定することで、値を出すことができます。

正確な測定結果を得るためには、レーザー光と求めようとする距離が、完全に直角を成す必要があります。(三平方の定理)

☞ 間接・ピタゴラス測定モードで算出された距離は、距離測定モードで直接測定した距離より精度が落ちます。また、対象物によっては測定誤差が大きくなる可能性があります。測定精度を向上させるには、三脚を使用してください。

間接高さ測定

右記の例で、距離 X を求めようとした場合、辺1を測定します。辺2と辺 X は直角である必要があります。



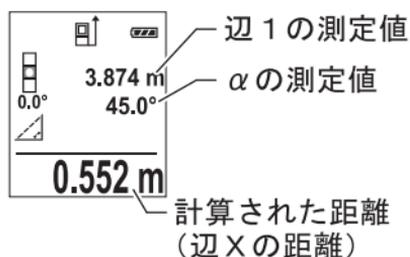
1. 「測定スタートボタン②(△)」を押して、レーザー光を照射させます。
2. レーザー光を辺1の目標面に当てます。
本機を辺Xの下の点と水平に置き、測定基準点を中心に本機を傾けます。

3. 「測定スタートボタン②(△)」を押して、辺1の距離を測定します。

測定が完了すると、辺1と傾斜角度 α の測定値がディスプレイ①の測定値表示dに表示されます。

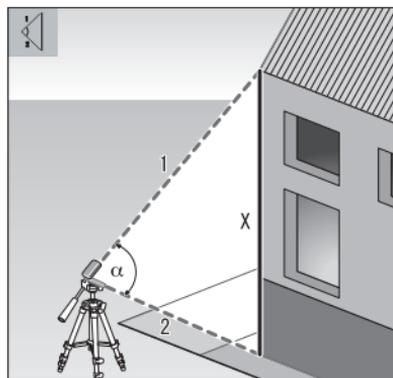
辺Xの距離は、ディスプレイ①の測定結果表示eに表示されます。

測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。



簡単ダブルピタゴラス測定

右記の例で、距離Xを求めようとした場合、辺1、2を測定します。



1. 「測定スタートボタン②(△)」を押して、レーザー光を照射させます。
2. レーザー光を辺1の目標面に当てます。

3. 「測定スタートボタン②(△)」を押して、辺1の距離を測定します。
測定が完了すると、測定値がディスプレイ①の測定値表示dに表示されます。

4. 続けて、レーザー光を辺2の目標面に当てます。
☞ 辺1の測定が終わっても、レーザー光は照射されたままになっています。

5. 「測定スタートボタン②(△)」を押して、辺2の距離を測定します。
☞ 辺1を測定したときの測定基準位置と、同一の位置で測定してください。
測定基準位置がずれると、正確な値を得ることができません。

辺2の測定が完了すると、
辺2と傾斜角度 α の測定
値がディスプレイ①の測
定値表示dに表示されま
す。

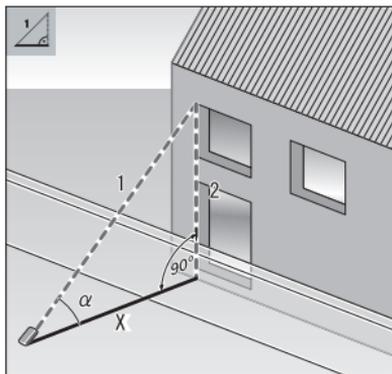
辺Xの距離は、ディスプレ
イ①の測定結果表示eに表
示されます。

測定が完了すると、レーザ
ー光は自動的に切れます。



間接距離測定

右記の例で、距離 X を求めようとした場合、辺1を測定します。辺2と辺 X は直角である必要があります。

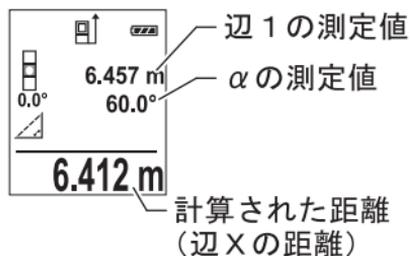


1. 「測定スタートボタン②(△)」を押して、レーザー光を照射させます。
2. レーザー光を辺1の目標面に当てます。
本機を距離を求める方向に水平に置き、測定基準点を中心に本機を傾けます。
3. 「測定スタートボタン②(△)」を押して、辺1の距離を測定します。

測定が完了すると、辺1と傾斜角度 α の測定値がディスプレイ①の測定値表示dに表示されます。

辺 X の距離は、ディスプレイ①の測定結果表示eに表示されます。

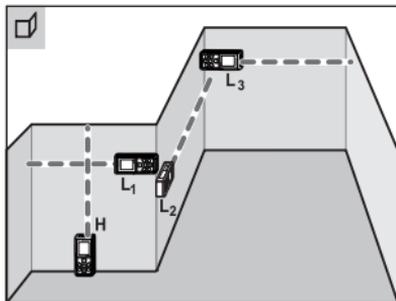
測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。



壁の総面積を測定する

同じ高さの、数面の壁の総面積を測定することができます。

例では、部屋の高さ H が同じで幅 L が異なる3つの壁面積の合計を求めます。

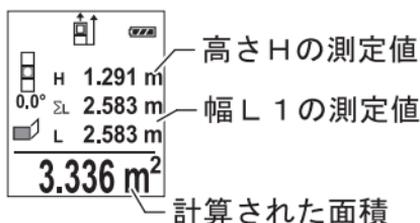


1. 「測定スタートボタン②(△)」を押して、レーザー光を照射させます。
2. レーザー光を高さ H の目標面に当てます。
3. 「測定スタートボタン②(△)」を押して、高さ H を測定します。
測定が完了すると、測定値がディスプレイ①の測定値表示 d の上段に表示されます。
4. レーザー光を一面目の壁の幅 L_1 の目標面に当てます。
☞ 高さ H の測定が終わっても、レーザー光は照射されたままになっています。

5. 「測定スタートボタン②(△)」を押して、幅L1を測定します。

測定が完了すると、幅L1の測定値がディスプレイ①の測定値表示dの下段に表示されます。

壁の面積は、ディスプレイ①の測定結果表示eに表示されます。



6. 続けて、レーザー光を二面目の壁の幅L2の目標面に当てます。

☞ 一面目の壁の測定が終わっても、レーザー光は照射されたままになっています。

7. 「測定スタートボタン②(△)」を押して、幅L2を測定します。

測定が完了すると、幅L2の測定値がディスプレイ①の測定値表示dの下段に表示されます。

測定値表示dの上段には高さHの測定値、中段には幅L1とL2の測定値の合計が表示されます。

壁の面積の合計は、ディスプレイ①の測定結果表示eに表示されます。

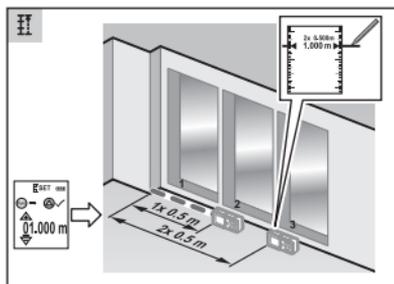
- 同様の手順で三面目の壁の幅 L3 を測定します。
☞ レーザー光を切るまで、同様の手順で数面の壁の総面積を測定できます。
- 「測定スタートボタン②(△)」を押すと、連続測定は終了し、レーザー光が切れます。

等間隔測定する

あらかじめ設定した長さを繰り返し測定できます。

材料を同じ長さに切断したり、等間隔に柱を立てたりするときに使用します。

☞ 設定できる長さは、0.1～50mです。



長さは、「モード選択／基本設定ボタン⑦(Func)」で設定する桁を選択し、「加算ボタン③(▶)」または「減算ボタン⑧(◀)」で値を設定します。

- 「測定スタートボタン②(△)」を押して、レーザー光を照射させます。

2. 本機を測定開始点からゆっくり後方へ移動させます。

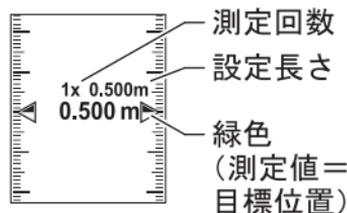
測定開始点からの距離が連続して測定され、設定した長さ与实际に測定された距離がディスプレイ①に表示されます。



下の段の値は次の目標位置までの距離を示します。

- ☞ 連続測定中に「測定基準点選択ボタン④」を押すと、その測定値を設定長さに設定できます。

目標位置に到達すると、ディスプレイ①両端の三角マーク◀▶が緑色になります。



上の段の左の値は、設定長さを何回測定したかを示します。

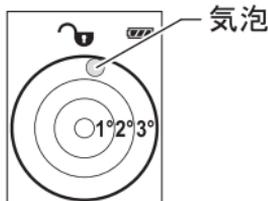
3. 「測定スタートボタン②」を押すと、連続測定は終了し、レーザー光が切れます。

傾斜を測定する

傾斜の角度を測定したり、水準器として使用したりできます。本機の向きによってディスプレイ①の表示が自動的に切り替わります。

本機を下面を下にして置くと、水準器として使用できます。

☞ 傾斜が 4° 以上あるときは、気泡が赤く点灯します。



本機を右側面か左側面で立てて置くと、ディスプレイ①が傾斜測定画面になります。

☞ 測定中にディスプレイ①が点滅するときは、本機を傾けすぎています。



測定値を削除する

「電源／クリアボタン⑤(⓪)」を押すと、最新の測定値が削除されます。

「電源／クリアボタン⑤(⓪)」を繰り返し押すと、最新の測定値から順に削除されます。

6 測定値を加算・減算する

測定値の加算

 加算されるのは、測定モードが一致している場合のみです。

 下記の組み合わせによる加算が可能です。

測定値 + 測定値

1. 加算させたい値を測定します。
2. 「加算ボタン③」を押します。
1 項での測定値と“+”がディスプレイ①に表示されます。
3. 加算したい値を測定します。
測定値がディスプレイ①に表示されます。
4. 「測定スタートボタン②」を押します。
最初の測定値に 2 番目の測定値が加算された値が、測定結果表示 e に表示されます。
 距離測定モードでは、3 項で加算したい距離を測定すると、「測定スタートボタン②」を押さなくても加算された値が表示されます。
5. 測定値の加算を終了するときには、「モード選択/基本設定ボタン⑦」を押します。

測定値の減算

☞ 減算されるのは、測定モードが一致している場合のみです。

☞ 下記の組み合わせによる加算が可能です。

測定値－測定値

1. 減算させたい値を測定します。
2. 「減算ボタン⑧(⊖)」を押します。
1 項での測定値と“－”がディスプレイ①に表示されます。
3. 減算したい値を測定します。
測定値がディスプレイ①に表示されます。
4. 「測定スタートボタン②(△)」を押します。
最初の測定値から 2 番目の測定値が減算された値が、測定結果表示 e に表示されます。
☞ 距離測定モードでは、3 項で減算したい距離を測定すると、「測定スタートボタン②(△)」を押さなくても減算された値が表示されます。
5. 測定値の減算を終了するときには、「モード選択／基本設定ボタン⑦(Func)」を押します。

7 保存された測定値を呼び出す・削除する

本機は、自動的に最新 30 件の測定値と計算結果を保存しています。

測定値の呼び出し

「モード選択／基本設定ボタン⑦ (Func)」を押した後、ディスプレイ①のメモリーマーク “” が選択されるまで「加算ボタン③ (▶)」または「減算ボタン⑧ (◀)」を繰り返し押します。

ディスプレイ①の上部にメモリー番号、下部に測定値と計算結果、左部に測定モードが表示されます。



「加算ボタン③ (▶)」を押すとひとつ新しい測定値と計算結果が、「減算ボタン⑧ (◀)」を押すとひとつ古い測定値と計算結果が表示されます。

保存されている値がない場合は、メモリー番号“0”が上部に、“0.000”が下部に表示されます。

最古の値はメモリー番号 1 に保存されています。最新の値はメモリー番号 30 に保存されています (30 件保存されている場合)。既に 30 件の値が保存されていると、測定するたびにメモリー番号 1 の値が消去されます。

測定値の削除

「モード選択／基本設定ボタン⑦」を押した後、ディスプレイ①のメモリーマーク “” が選択されるまで「加算ボタン③」または「減算ボタン⑧」を繰り返し押します。

「電源／クリアボタン⑤」を押すと、表示されている測定値が削除されます。

 「測定基準点選択ボタン④」と「電源／クリアボタン⑤」を同時に押すと、保存されているすべての測定値が削除されます。

他の機器へのデータ転送

Bluetooth®通信

本機は、**Bluetooth®**インターフェースを備えたモバイル端末・機器（スマートフォン、タブレット PC など）に、無線通信でデータ転送することができます。

Bluetooth®接続に必要なシステム条件については、ポッシュホームページ (<http://www.bosch.co.jp>) をご覧ください。

モバイル端末・機器用ポッシュソフトウェアは、アップルストアやグーグルプレイなどでも入手できます。

1. 本機の「**Bluetooth®**ボタン⑥」を押します。
ディスプレイ①に **Bluetooth®**表示  （有効・未接続）が表示されます。
2. 本機の「**Bluetooth®**ボタン⑥」を再度押すか、「加算ボタン③」を押します。
3. 通信先のモバイル端末・機器の **Bluetooth®**インターフェースが有効になっていることを確認し、ポッシュソフトウェアを起動して **Bluetooth®**を認識させます。
モバイル端末・機器との接続が確立すると、**Bluetooth®**表示が  （有効・接続済み）に変わります。
4. ポッシュソフトウェアで作業します。

5. **Bluetooth**[®]接続を切るときは、「**Bluetooth**[®]ボタン⑥」を押します。

 6. 「**Bluetooth**[®]ボタン⑥」を再度押すか、「減算ボタン⑧」を押すと、**Bluetooth**[®]表示が消えます。
または「電源／クリアボタン⑤」を長押しして本機の電源を切ると、**Bluetooth**[®]接続も切れます。
-  接続の際に有効なレーザー距離計が複数台見つかった場合は、モバイル端末・機器側で1台を選択してください。有効な距離計が1台しか見つからなかった場合は、自動的にそれが接続されます。
-  スマートフォンと **Bluetooth**[®]接続すると、約5分後に本機のディスプレイ①の電源が切れます。本体の電源は切れず、約15分間 **Bluetooth**[®]接続されたままになります。
-  「**Bluetooth**[®]ボタン⑥」を押した後、5分以内に接続できなかった場合は、自動的に **Bluetooth**[®]表示が消えます。
-  航空機内・病院内など、無線通信に制限がある場所では、それぞれの指示に従ってください。
-  **Bluetooth**[®]によるデータ転送は、モバイル端末・機器と本機との距離や測定対象物によって、時間がかかることがあります。

Bluetooth[®]のワードマークと **Bluetooth**[®]のロゴは Bluetooth SIG Inc. の登録商標であり、Robert Bosch Ltd. は商標使用の許諾を得てこれらを使用しています。

レーザー距離計の精度チェック

● 距離測定の精度チェック

誤って落としたり、ぶついたりして精度が気になるときは、下記の手順で精度チェックを行ってください。

 測定作業後に精度比較チェックが行えるよう、すべての測定値を記録してください。

1. 距離が変化しない屋内の場所で、3～10m 程度の距離を決めます。（例えば、室内幅やドアの開孔口など）
対象物の表面は平坦で、レーザー光がよく反射するものにします。
2. 1 項で決めた距離を、10 回続けて測定します。
測定値の許容誤差は、±4mm 以下です。

● 傾斜測定の精度チェックおよび校正

定期的に傾斜測定の精度チェックを行ってください。

☞ 極端な温度変化や強い衝撃を受けた場合は、精度チェックを行い、必要であれば校正してください。温度変化があった場合は、本機を温度に慣らしてから校正してください。

1. 本機を水平なテーブル上に置き、傾斜を測定します。



2. 同じ場所で本機を 180° 回転させ、再度傾斜を測定します。



3. 本機を横向きにして同様に測定します。



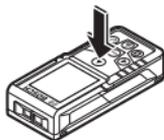
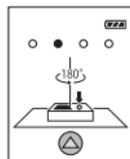
☞ 測定値の許容誤差は 0.3° 以下です。

4. 測定値の差が 0.4° 以上の場合は、校正が必要です。
「モード選択／基本設定ボタン⑦ (Func)」を長押しして、基本設定画面を表示させ、「CAL」を選択します。ディスプレイ①に表示される指示に従って校正してください。

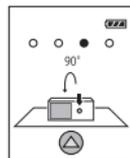
- ①本機を水平なテーブル上に置き、傾斜を測定します。



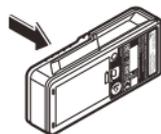
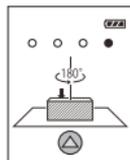
- ②ディスプレイの指示が次に進んだことを確認して、同じ場所で本機を 180° 回転させて再度傾斜を測定します。



- ③ディスプレイの指示が次に進んだことを確認して、同じ場所で本機を横向きにして、再度傾斜を測定します。



- ④ディスプレイの指示が次に進んだことを確認して、同じ場所で本機を 180° 回転させて、再度傾斜を測定します。



完了



困ったときは

故障かな？と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
- ② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症 状	原 因	対 処
ディスプレイ①に『Error』が表示される	正しく測定できなかった	電源を一度切り、再度入れて、測定し直す
ディスプレイ①に⚠だけが表示された後、電源が切れる	本機に異常が検出された	お買い求めの販売店または弊社コールセンターへご相談ください

修理を依頼するときは

- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。なお、この製品には保証書がついておりますので、現品とともにご掲示ください。

コールセンターフリーダイヤル

 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後6:00

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。コールセンターフリーダイヤルのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ

<http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒360-0107 埼玉県熊谷市千代39

TEL 048-536-7171 FAX 048-536-7176

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野741-1

TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

お手入れと保管

お手入れと保管

- レーザー距離計を保管・運搬する際には、必ず付属のキャリングバッグに収納してください。
- レーザー距離計はきれいな状態を保ってください。
- レーザー距離計を水中やその他の液体中に入れないでください。
- 汚れは湿ったやわらかい布で拭き取ってください。洗剤や溶剤は使用しないでください。
- 受光レンズ⑫は眼鏡およびカメラレンズ等の光学機器と同等に損傷を受けやすい部品です。特に慎重にお取り扱いください。
- レンズのほこりは、吹き飛ばしてください。
- レンズには指で触れないでください。

廃 棄

本機の廃棄処分は各地域の行政が指導する方法に従って適切に処分してください。

本機を不適切に廃棄処分すると、以下のような問題が起きる恐れがあります。

- プラスチック部品を燃やすと、有毒ガスが発生し、人体に悪影響を及ぼす恐れがあります。
- 電池が損傷したり、加熱され爆発したりすると、毒物の発生、火傷、腐食、火事あるいは環境汚染の原因となることがあります。
- 本機を無責任に廃棄処分すると、製品知識の無い人が規定を守らずに使用する恐れがあります。そのため自分自身だけでなく第三者も重症を負ったり、環境汚染を起こすことがあります。